

重要事項の説明書

静岡東海証券株式会社

この説明書は、「金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律」の施行に合わせ、弊社の取り扱っている主要商品の重要事項(リスク等)について、お客様にご理解を頂くことを目的として、弊社が独自で作成したものです。それぞれの商品につきまして十分にご理解を頂き、証券取引は、お客様ご自身の責任と判断で行なって頂きますよう、お願い致します。

1. 国内株式

リスク要因として、株価変動リスクと発行者の信用リスクがあります。

株価の下落や発行者の信用状況(経営・財務状況等)の悪化等により、投資元本を割り込むことがあります。

2. 外国株式

上記のリスクに加え、為替変動により、投資元本を割り込むことがあります。

3. 国内債券

リスク要因として、価格変動リスク・金利変動リスク・発行者の信用リスクがあります。

債券の価格は、金利の変動等により上下しますので、償還前に売却する場合には、投資元本を割り込むことがあります。また、発行者の信用状況(経営・財務状況等)の悪化等により、投資元本を割り込むことがあります。

4. 外国債券

上記の債券のリスクに加え、為替変動により、投資元本を割り込むことがあります。

5. 転換社債型新株予約権付社債(国内)

リスク要因として、価格変動リスク・金利変動リスク・株価変動リスク・発行者の信用リスク・行使請求期間の制限があります。

転換社債型新株予約権付社債の価格は、行使対象株式の株価変動や金利の変動の影響等により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、倒産等、発行会社の経営・財務状況の悪化等により投資元本を割り込むことがあります。なお、株式への行使を請求できる期間には制限がありますのでご留意下さい。

6. 公社債投資信託(公社債投信・MRF)

リスク要因として、基準価額変動リスク・組み入れ債券の価格変動リスク・発行者の信用リスク・為替変動リスクがあります。

組み入れた公社債の価格が、金利の変動や公社債の発行者の経営・財務状況の変化などにより、上下しますので、これにより基準価額が変動し、投資元本を割り込むことがあります。

MRFは外貨建の公社債を組み入れる場合、原則為替ヘッジのための取引が行われますが、外国為替市場の影響でこの取引のためのコストなどが増加して基準価額が変動し、投資元本を割り込むことがあります。

公社債投信の解約手数料等、所定の費用が控除され、これにより投資元本を割り込むことがありますのでご留意下さい。

公社債投信、MRF他すべての投資信託をご購入頂く際には必ず「目論見書」をお受け取り頂き、その内容をご確認の上ご購入下さい。

以上
(2024.2.29改定)